

奈良市では、避難所に指定されている小・中学校の体育館の耐震化を優先して進めてまいりました。また、市立の幼稚園、小・中学校の校舎の耐震化については、学校・棟別優先度順に耐震診断を実施し、その結果に基づいて順次耐震化を進めております。

この度、平成30年4月1日現在の耐震状況の結果がまとまりましたので、前年度の耐震化率と併せて状況を報告いたします。

耐震化の状況（平成30年4月1日現在）

（参考）

学校施設	学校・園数	建物区分	全棟数 A	S57年以降 建築の 棟数 (新耐震) B.	S56年以前 建築の 棟数 (旧耐震) C	Cのうち 改修済み 及び補強 の必要が ない棟数 D	耐震化 率 (B+D)/A	耐震化率 (H29.4.1)
小学校	43	校舎	174	53	121	118	98.3%	98.3%
		体育館	43	17	26	26	100.0%	100.0%
中学校	21	校舎	124	77	47	47	100.0%	100.0%
		体育館	20	14	6	6	100.0%	100.0%
		武道場	19	8	11	11	100.0%	100.0%
高等学校	1	校舎	7	2	5	4	85.7%	85.7%
		体育館・ その他	4	3	1	1	100.0%	100.0%
幼稚園等	36	園舎	62	31	31	30	98.4%	98.2%
合計	101		453	205	248	243	98.9%	98.9%

※表内の棟数については、耐震診断等により変動する場合があります。

※幼稚園等の内訳は、幼稚園20園・幼保連携型認定こども16園

（平成30年度より保育所から幼保連携型認定こども園へ移行の2園（若草・朱雀）を含む。）